隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
https://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号　530－0047
電話　06（6361）4972㊊
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756･4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リブラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㊊
（支　局）広島・福岡
© 食品新聞社 2020
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

経済活動再開も段階的に

愛知は独自の緊急事態宣言継続

緊急事態宣言解除

政府による39県の緊急事態宣言解除を受け、中京地区でも休業していた商業施設の営業再開や小売、飲食店等の営業時間の平常化などが進んでいる。愛知県は県独自の緊急事態宣言を5月末まで継続する考えのため、県内にオフィスや事業所を構える企業は月末までの在宅勤務を基本としている模様。6月からの営業活動再開を期待しつつ準備を整えているといった状況だ。

中京地区

小売では、これまで食品売場のみの営業だった百貨店が、17日に名古屋三越、18日には名鉄百貨店、19日からはジェイアール名古屋タカシマヤと松坂屋名古屋店と、順次全館営業（一部テナント除く）を再開した。

地場食品スーパー各社は地盤とするエリアによって状況が異なるものの、5月いっぱいは閉店時間の前倒しやチラシ配布の一時停止・回数減等を継続する考え。

GMSだけの営業にとどまっていたモールも専門店の営業が再開。イオンリテール東海カンパニーでは5月13日に三重と静岡、同18日からは愛知と岐阜のイオンモール内のテナントが営業を再開した。

一方、小売店頭においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛要請で内食需要が高まり、巣ごもり消費がすっかり定着。カップ麺や冷凍食品、カレー・パスタソースなどのレトルト、米・パックごはん、パスタ（乾麺）、缶詰、簡便調味料などが好調に推移。このあたりの商品は一部供給調整を行っているものもあるが、一時期の品薄状態はある程度解消されてきた。

カゴメでは、コロナの感染拡大と自粛強化の流れに応じて、パスタソースなどの簡便商品→ピザソースやトマトソース類→トマトケチャップと順に引きが強まったとのこと。野菜飲料も健康面から堅調な動き。味の素でも2～3月はお粥やカップスープの動きが活発で、その後、「クックドゥ」などのメニュー系簡便調味料、さらに時間軸ストレッチ「ベーキングパウダー」などは在宅時間が増えたことや経済的理由などからパンやピザを手作りする家庭が増えたことで売上げが急伸した。

また、家族が揃うシーンが増えたことでホットケーキミックスやお好み焼粉・たこ焼粉も売上げを伸ばし、パン・ピザの需要増と合わせ、溶けるタイプのチーズやバター、ピザソース、トマト缶なども動きが良い。

消費者の購買行動を見ると、ネットショッピングやキャッシュレスのスコア上昇も顕著となっており、こうした流れはコロナ後も強まっていくと予想される。前出のイオンリテール東海カンパニーでは今年の「母の日」商戦の売上げが昨年の店舗6対ネット4から同4対6に逆転したという。

一方、外食はチェーン店・個人店とも通常営業に戻りつつあるが、店内での飲食を忌避する客への対応として、テイクアウトを継続し、売上げの補完を図るケースが多くみられる。

コロナ禍の影響で今シーズンの開業が遅れているビアガーデン各社。座席数を半分以下に抑えてのゆとりある空間確保、ビュッフェスタイルからオーダースタイルへの食べ放題システムの切り替え、一グループあたりの人数制限などで開業への道筋をつけたいところだが、席数減による売上減少が必至の状況で、オペレーションの大幅変更やそれに伴う人件費増などへの賄うか、価格設定など課題も大きい。

今回のコロナ禍への対応を通じて、「これまでの『ムリ・ムダ・ムラ』を改めて見直す機会を得たと捉えている」との業界関係者の声も聞こえた。中京食品流通業界においても、コロナ禍収束後の〝新しい様式〟を定う定めていくのかが、経済再活性化に向けた重要テーマの一つとなりそうだ。

大型店や百貨店が再開

休校は継続、観光施設はまばら

中国地方

緊急事態宣言の解除をされた。広島県は飲食店に求めていた営業時間の短縮を解除し、酒類の提供制限も緩和した。

イズミは広島・福岡両県で休業していた、大型店「ゆめタウン」内専門店の営業を16日から開始。これにより、「ゆめタウン」全店が営業を再開することとなった。百貨店の福屋も18日から全店で営業を再開した。

ただ、広島県は引き続き週末の外出自粛や企業に対するテレワークの活用を呼び掛けている。また広島・岡山の両県では予定通り今月いっぱい県立学校を休校とする。

内食需要の拡大で4月以降、売上げを伸ばしている地元スーパーの幹部は、緊急事態宣言が解除され最初の週末となった16日の客足について「天気が悪かったこともあり、ここ最近の中では比較的落ち着いていた」と話す。ただ、在宅勤務や休校が続けば「昼食にかかわる需要は引き続き強いだろう」とみる。

また、別のスーパーではコロナ関連の生活雑貨などの動きが先週頃から鈍くなり、週明けからマスクの値下げに踏み切ったという。

一方、岡山県や島根県は県をまたぐ移動の自粛を求めており、県外客が多い水族館などの施設は休館を継続する。瀬戸内海の各観光地も行楽客はまばらで、閑散としたままだ。

一部、土産向けの商品も製造する地場メーカーの社長は「関連する分野の売上げは半減した。解除になっても夏休みまでに観光客が戻るかどうか」と不安の色を隠さない。

同社では現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、過酷な現場で治療に当たっている医療従事者やこども食堂へ、バナナの提供を通して健康支援を行っている。

3月単月量額20％増

通期〝まさか〟の結果に

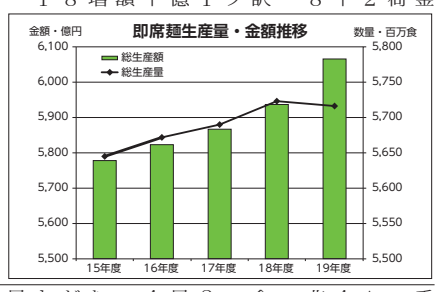
19年度　即席麺総需要

4期連続で総需要過去最高を更新してきた即席麺カテゴリー。2019年度は、価格改定（6月）、消費増税（10月）、暖冬（12月、1月）、前期のテレビドラマ特需の反動（3月）等々の逆風により前年割れも予想されたが、新型コロナ特需を受け、3月単月が数量19・4％増、金額21・2％増と跳ねたことから、通期で数量前年並み、金額前年クリアという〝まさか〟の結果となった。

2019年度（19年4月～20年3月）の即席麺総需要（生タイプ含む）は、数量前年比0・1％減（57億1千628万7千食）、金額（出荷額）2・2％増（6千65億4千8百万円）。

種別内訳は、カップ麺が数量1％増（40億18万4千食）、金額3・3％増（4千786億3千1百万円）、袋麺は数量2・6％減（17億1千610万3千食）、金額1・6％減（1千279億1千7百万円）。

生産量（生タイプ除く）は、NB品などを中心とするJAS品が1・7％減（46億900万9千食）、PBなどを中心とする非JAS品が9％増（9億5千991万3千食）。



内訳は、カップ麺がJAS品0・7％増（33億4千458万3千食）、非JAS品3・7％増（6億2千563万2千食）。袋麺はJAS品7・4％減（12億6千442万6千食）、非JAS品20・6％増（3億3千428万1千食）。

袋麺はJAS品が大幅な前年割れとなっているが、2018年度は「チキンラーメン」（日清食品）が60周年、「サッポロ一番　みそラーメン」が50周年（サンヨー食品）などにより大々的な販促が展開されたこと、NHK朝の連続テレビ小説「まんぷく」特需など4％増、袋麺85・2％増と爆発的な伸び。

小中学校の休校、在宅勤務に伴い需要が増加したものとみられるが、食品スーパー等の販促が控えられたこともあり、オープンプライスやEDLPのPB消費が拡大したようだ。

メーカー実績も同様で数字を伸ばしたことの反動。

注目された新型コロナウイルスの影響については、3月単月実績に如実に表れた。種別生産量はカップ麺15・9％増、袋麺27・9％増。同出荷額はカップ麺18・9％増、袋麺29・2％増。特に非JASは、カップ麺58・で、3月単月の売上高は、日清食品が前年比13％増、明星食品が27％増。日清食品は、19年3月も「まんぷく」特需で17年度比10％増としていたが、20年3月はそこからさらに二ケタ伸ばした。

新型コロナ特需の影響の大きさを示すものとなった。

バナナで初の機能性表示食品

高めの血圧下げるGABA含有

ドールが発売

ドールは、バナナとして初の機能性表示食品を発売した。同社がフィリピンや南米諸国で生産するバナナのうち、「極撰バナナ」（参考小売価格350～400円）をはじめとした9品目で、血圧が高めの人の血圧を下げる機能があるGABA（γ－アミノ酪酸）を含んだ機能性表示食品として届出が完了したことを受け、〝血圧が高めの方に〟と表示した商品を今月から順次店頭で販売開始している。

GABAは体内で吸収されると血管を収縮させるノルアドレナリンの分泌を抑え、血圧が高めになるのを抑制することが報告されている。ドールのバナナに含まれるGABAは、バナナに多く含まれるうまみ成分であるグルタミン酸の一部が、バナナの実の成長に伴い変化してできる自然由来の成分。GABAは1日12・3㎎を摂取すると、血圧が高めの人の血圧を下げる機能があることが報告されている。ドールのバナナの可食部120g（1～3本）を食べると、機能性が報告されている1日当たりのGABAの摂取目安量の50％、約6・2㎎を摂取できる。

血圧は加齢とともに高くなるが、若い世代でも現代社会のストレスや食事の偏りなどで血圧が高くなる。血圧が高めの状態が続くと血管の内側が傷つきやすくなり、動脈硬化を発症する恐れがある。ドールのバナナは年間を通して全国各地で販売されているため、普段の食事や間食に手軽に取り入れやすく、おいしく続けることができるとしている。

機能性表示食品「極撰バナナ」㊨と「ドールバナナ」

ラベルに「血圧が高めの方に」と表示

逆光線

家事の総量を「10」とした時、食事作りの負担はその5～6割。例えば夫婦2人暮らしで、どちらかが食事の支度を一手に引き受けたら、もう1人が掃除や洗濯をいくら頑張ってもイーブンにはならない。家事分担はこのぐらいのバランスで考えるのが妥当と思っている▼決まった予算の中で買い物をし、献立を考え、料理を作る。「メニューがマンネリにならないように」「栄養バランスにも配慮して」となると並大抵ではないからだ。共働きだったり、子どもがいればなおさらだろう。だからとした時、勤務先でのランチや学校給食は作り手にとってオアシス的存在といえる▼ところが新型コロナウイルスの影響で学校休校や在宅勤務が定着したこの2か月ほどは、家族が家に揃っている時間が増えた。朝昼晩の献立に頭を悩まし、「生活の9割が食事作り」という日々を送ってきた人も多いのではないか▼コロナ禍の長期化を危惧しつつも、国の緊急事態宣言解除を受け、日常を取り戻す準備に入った。〝新しい生活様式〟の中では、食事の家事分担もまた変わってくるのだろうか。

きょうの主な内容
「量販、CVS展望」（総合流通特集（PART1））　5～7面
「にんにく漬　売場企画で需要喚起」（つけもの版）　8面

世界の海苔を…世界の人々に
国際海苔問屋、技術と信頼の
株式会社ヤマコ
本社　〒441-8061
愛知県豊橋市新栄町字八幡22番地の1
TEL（0532）61-7111　FAX（0532）76-7780
山田海苔株式会社
TEL 0596-8-753517　FAX 0596-8-234017

料理には、
不思議な力が
きっとある。

ここ一番のとき、
決まって食べたくなる料理がある。
自分だけにしかつくれない、
こだわりの料理がある。
たいせつなひととの思い出の中に、
いつも浮かんでくる料理がある。
誰にだってひとつはある、
つい語りたくなる物語のつまった料理。
ひとはそれをつくるたび、食べるたび、
なぜだかいつも笑顔になれる。
日清製粉グループは、
そんな、ひとりひとりのハッピーメニューに、
これからも寄り添い続けていきたいと思います。
さあ、あなたのハッピーメニューはなんですか？

HAPPY MENU TO YOU!
日清製粉グループ
https://www.nisshin.com/happymenu/